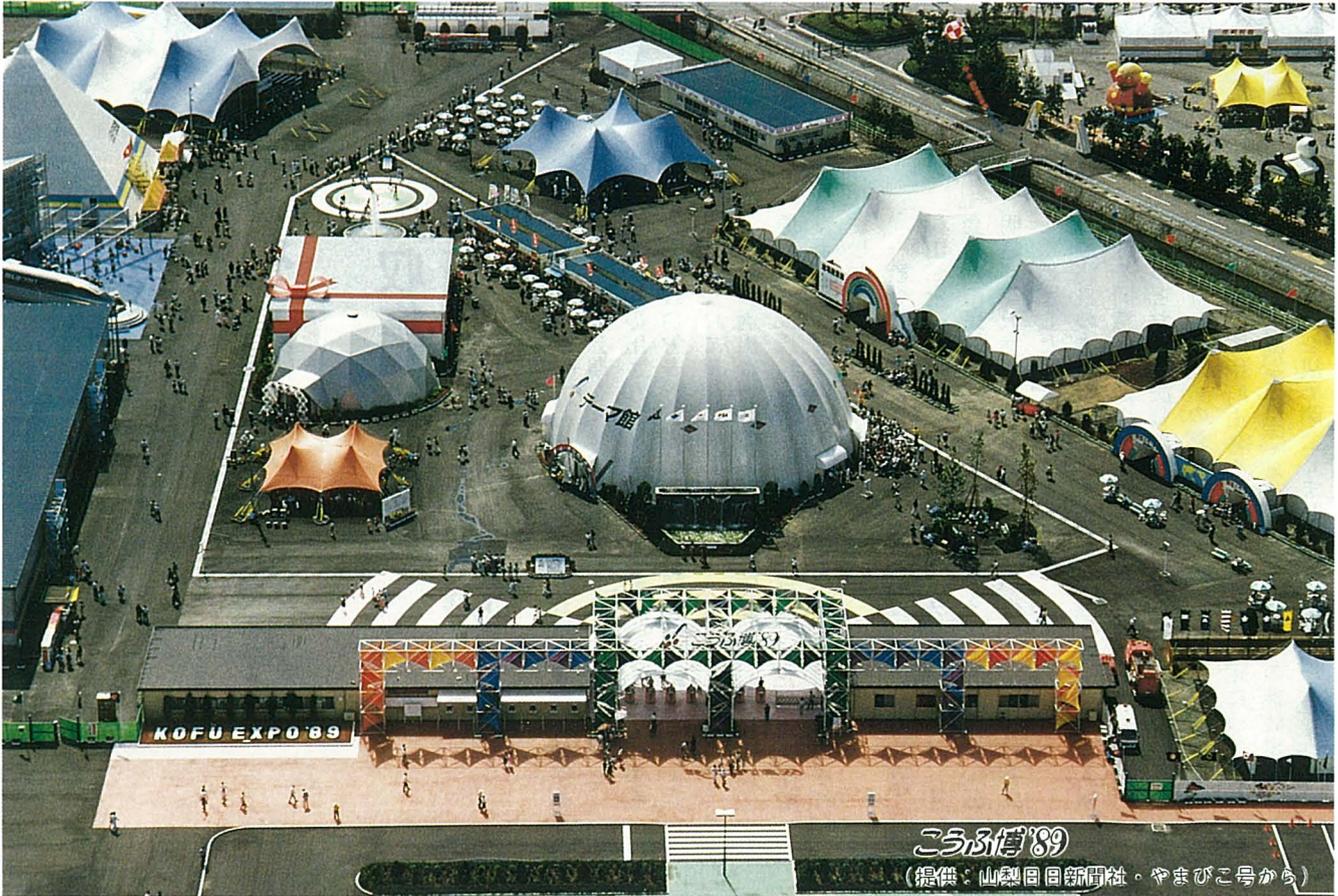


甲府市議会だより

第 83 号

平成元年11月1日

編集・発行
甲府市議会だより
編集委員会
電話 (35) 7054
甲府市議会事務局



こふ博'89
(提供: 山梨日日新聞社、やまびこ号から)

議長に原田正八郎氏当選

9月定例会



就任あいさつ

甲府市議会議長
原 田 正八郎

九月定例会において、議員各位のご推挙により第七十代甲府市議会議長に就任いたしました。市制施行百周年の記念すべき年に議長の大役を務めさせていただきますことは、誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感しております。

本市は、この市制百年を契機に二十一世紀に向けてさらに飛躍発展を期し、本市の都市像である「明日をうらく健康都市・甲府」の実現をめざし福祉施策の充実、生活環境・都市基盤の整備、高速交通体系の確立等々、いずれも将来の浮沈にかかわる諸事業を強力に推進いたしております。

本市議会は、この重要な時期にあたり、議決機関としての使命と責務を自覚し、効率的かつ円滑な議会活動を通して市民の皆様への負託にこたえ、渾身の努力を傾注する覚悟であります。今後とも、より一層のご支援とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

おもな内容・ページ

- ・ 議長就任あいさつ ①
- ・ 定例会要旨、定例会審議日程 ②
- ・ 決算審査特別委員会を設置 ③
- ・ 一般質問、定例会質問要旨 ④
- ・ 一般質問、反対討論要旨 ⑤
- ・ 委員会審査の主な内容 ⑥
- ・ 請願の審査結果、請願・陳情はどうか処理されたか、意見書、議員表彰 ⑦
- ・ 各会派の意見 ⑧
- ・ 請願・陳情のしかた、議会日誌 ⑨
- ⑩

平成元年度

甲府市一般会計補正予算など

二十四案件を可決・同意

不燃ごみ等の収集業務の 効率化計画について論議集中



9月定例会

九月定例会は九月十二日に招集され、冒頭議長選挙を行った後、会期を九月二十二日までの十一日間と決め、市長から提出された補正予算、条例の一部改正、人事案件、市政功労表彰者の決定、請負契約の締結など二十六議案について審議しました。

議長の選出については、投票の結果、第七十代議長に原田正八郎氏（市政クラブ）が当選し、また議会選出監査委員には齊藤憲二氏（社会党・市民連合）が選任されました。

一般質問は各党派を代表して加藤裕（日本共産党）村山二永（無所属）清水節子（市政クラブ）細田清（社会党・市民連合）宮島雅展（市民クラブ）堀内光雄（公明党）森沢幸夫（政新会）の各氏が行い、市長等に答弁を求めました。

最終日の本会議では、監査委員の選任ほか三件の人事案件を同意し、他の提出議案については、いずれも当局原案のとおり可決しました。

このほか、国への意見書提出一件を可決、さらに、昭和六十三年度甲府市各会計別決算等の認定については「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査に付することを決め閉会しました。

議会
選出 監査委員に

齊藤憲二氏



議会選出
の監査委員
依田敏夫氏
の辞職に伴
い、新たに

齊藤憲二氏を選任する議案が今定例会に提出され、採決の結果、全員異議なく同意することと決しました。

決算審査特別委員会を設置

九月定例会に、「昭和六十三年
度甲府市各会計別決算の認定
について」、「昭和六十三年
度甲府市各企業会計別決算の認定
について」の議案が提出されま
した。

議会では九月二十二日の本会
議でこれを審査するための「決
算審査特別委員会」を設置して、
委員十四名を次のとおり決め、
閉会中の継続審査に付すること
にしました。
委員会の審査結果は、十二月
定例会で報告する予定です。



委員長
内藤 幸男

副委員長 牛奥 公貴

委員

- 三井 五郎 中西 久
- 清水 節子 宮川 章司
- 鈴木 豊後 中込 孝文
- 石原 貞夫 上田 英文
- 福島 勇 堀内 光雄
- 秋山 雅司 加藤 裕

九月定例会

審議日程

9月12日(火)	開会・提案理由の説明
13日(水)	休会
17日(日)	休会
18日(月)	本会議・質疑及び 市政一般質問
19日(火)	本会議・質疑及び 市政一般質問
20日(水)	各常任委員会付託 各常任委員会
21日(木)	本会議・各常任委 員長報告・閉会
22日(金)	本会議・各常任委 員長報告・閉会



不燃ごみ収集・民間委託

効率よい

経営計画を

廃棄物の処理に関わる基本計画を策定し、施設整備だけでなく、廃棄物の減量化、資源化、収集・運搬の効率化などの推進による処理経費の節減、最終処分場の確保等を実現させるために、長期的なビジョンを明確にする。

ごみ減量化 再資源化は

【問】家庭などから排出されるごみの量は年ごとに増え続け、ごみの質も空き缶、プラスチックなど多様化しており、ごみの減量化が肝要である。

不燃ごみの中には資源化が可能

なものが多く含まれているということであるが、再資源化とごみ減量化への具体的な対応を示せ。

【答】ごみの減量化には、有価物の収集回数を月二回に増加し、ごみ収集・運搬及び選別業務を効率化三年計画で民間委託してまいりたい。

この計画により年間五千トンの減量が想定される。

行政責任と 市民サービスは

【問】不燃ごみ収集の民間委託が具体化されているが、清掃業務は法律により市の責任において処理されるべきで、民間委託は行政責任の放棄と市民サービスの低下につながらないか。

【答】ごみ処理等に関する地方自治法並びに廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定の趣旨は、自治体が最終的にその責任をもつものであると理解しており、委託にあたっては、収集日、集積場所等は市が計画し、それに基づいて民間が業務を行うもので、行政責任は十分確保できる。

また今回の計画は、収集回数が増加など市民サービスの向上につながる。

平成元年 9 月 定例会 質問要旨

氏名	会派	質問の要旨
加藤 裕	日本共産党	消費税廃止について ごみの民間委託問題について 中学校給食について 甲府博覧会について 校歌の制定手順と見直しについて 遊亀公園音楽堂の整備について
村山 二永	無所属	リニアエクスプレス実験線導入について ごみ処理清掃工場建設促進について 精神薄弱児(者)の通所授産施設の設置について 高齢化社会にむけて社会福祉協議会の役割について 青少年非行防止の具体的施策について
清水 節子	市政クラブ	福祉行政について 教育行政について リニアモーターカーの誘致にともなう諸問題について 寿宝地区区画整理事業の進展について
細田 清	社会党・市民連合	ごみ処理の民間委託の進捗状況について 情報化都市の指定と新都市拠点について 新しい福祉の充実について 住民活動災害補償制度について 消費者保護対策について
宮島 雅展	市民クラブ	
堀内 光雄	公明党	
森沢 幸夫	政新会	博覧会について リニアモーターカー実験線について

寿宝地区の区画整理事業

換地移転など柔軟に対応

【問】寿宝地区土地区画整理事業の年次計画で、後年度施行区域に予定されている区域においても、事情によっては換地移転を施行するなど、住民要望に対応する考えがあるか。

また古府中環状浅原橋線が延長する寿宝地区の北側（宝地区）の将来計画を示せ。

【答】寿宝地区土地区画整理事業は、平成七年度完成を目途に推進しているが、事業計画から着手まで既に十年を経過しているため、建築制限等の規制により、生活設計に支障をきたしている状況もあるため、全体の換地計画を早急にたて、住民個々の事情をも考慮し計画年次にとらわれず柔軟に対応して住民要望にこたえたい。

宝地区の計画については、寿宝地区の進捗状況をみながら、宝地区への事業の説明会等を通じて、区画整理による「まちづくり」の協力を求めてまいりたい。そして



甲府市寿宝地区土地区画整理事業完成予想鳥瞰図

寿宝地区が終束を迎える時期には都市計画街路、古府中環状浅原橋線を含む宝地区の着手ができるようにしたい。

住民活動の

災害補償は

【問】市民団体等が行う地域社会活動、青少年育成活動、社会福祉活動、社会教育活動等で、指導者も参加者も安心して活動ができるよう、市民活動災害補償保険制度の早期実施を求める。

【答】市民総参加市政のより推進を図るうえから、自治会活動を主体とする住民活動は、地域行政と密接不可分の関係にある。

本市では、すでに傷害等見舞金支給制度及び全国市長会市民総賠償補償保険制度を採用しているが地域住民の自主的活動における補償としては、必ずしも十分ではない。そこで他都市の実施状況や民間による自治会保険制度をも対象とする中で見直しを行い、市民が安心して活動に参加できる、より効果的な補償制度としての市民総合災害補償制度を発足させたい。

授産施設の

早期建設を

【問】精神薄弱児者の自立生活の確立を図る上で、就労の場の確保と地域社会での生活の場を確保する必要があるので、通所の授産施設建設計画を早く実現させよ。

【答】精神薄弱児者の自立と生きがいの促進のため、小規模作業所を含め授産施設拡充の要望が大きいため、第三次総合計画に授産施設も備えた「障害者総合福祉センター」の建設を計画しており、関係者等の要望も取り入れて、調査検討を進めている。

魅力ある 消防団へ！

【問】甲府市消防団は各小学校地域に分団を組織し、地域消防・防災など広い範囲にわたって活躍しているが、最近の傾向として団員の確保が困難となり、消防団活性化の実が上っていない。

地域住民の期待に応え得る消防団育成やポンプ車輛、施設、服装などの整備充実をどう進めるか。

【答】消防団員は地域社会への奉仕精神をもって消防・防災活動に尽力されているが、今後も魅力ある消防団づくりのために、先進都市への研修を含めた各種研修会を



実施し、各種の団員交流を通じて資質の向上と処遇改善を図るとともに、ポンプ、施設、服装等の整備充実を年次計画によって進めてまいりたい。

水上野外音楽堂

老朽化の整備は

遊亀公園

【問】遊亀公園の水上野外音楽堂が老朽化し、観覧席も損みがひどい。整備して利用できるようにする考えはないか。

【答】この音楽堂は、昭和三十七年五月に、坂本正二郎氏の寄附により建設されたもので、以来市民に広く利用されてきた。しかしながら、近年は天候や音

響装置などの利用条件的な問題もあって、新設整備された他施設を利用する傾向にある。

また、市立動物園と隣接しており、動物が演奏会の音でノイローゼになるため使用を許可していないが、図書館移転計画、動物園改修計画等と併せて総合的に検討したい。

リニア構想と

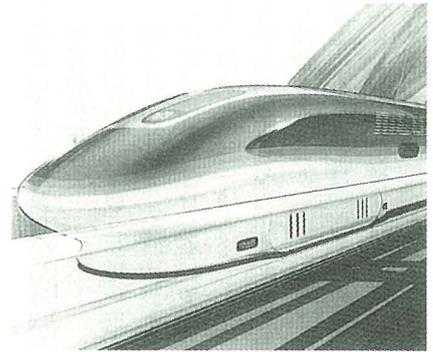
新しい街づくり

― 諸施策を展開 ―

【問】四全総が強調する多極分散型の国土形成からみても、リニア構想が具体化するなかで、リニア駅周辺地域の街づくりと、甲府駅周辺の新都市拠点整備事業をはじめとする既存市街地の整備計画との整合性をどう図るか。

【答】リニア計画によって多極分散の国土形成が図られ、東京一極集中型が改善されることが期待される。

本市は、県都としてまた広域市町村圏の中核都市として、新しい街づくりのために既存市街地の諸整備計画と同様に、その施策展開を図っていく必要がある。



そのためには、今の段階からその影響を分析検討し、産業、経済文化の発展のため、あるべき街づくりというものを構想しておく必要があり、現在進めている新都市拠点整備事業等との都市機能分担或いは新しい交通システムや幹線道路による一体的連携など、今後県全体の整備計画や受け皿づくりとの整合性を図りながら、諸施策を展開してまいりたい。

心かよう福祉の

街づくりを

【問】老人や障害者のための福祉の街となるためには、思いやりの心で人々が暖かく包みこむソフトの部分と、駅の階段や道路、歩道橋、公共建物など、健常者中心につくられている施設を、老人や障

害者サイドにたったものにしていくハードな部分の充実が必要である。福祉の街づくりについて見解を示せ。

【答】お年寄りや障害者の「住みよい街づくり」のため、福祉サービスの充実、市民啓発の推進、生活環境の整備など、総合的な施策を展開しているが、指摘された点も関係機関と協議しながら、更にきめ細かな施策を推進する。

討論

反対討論要旨

◆消費税の廃止を求める請願等について

▽国民は、参議院選挙で消費税に明確なノーの審判を下しました。しかし、海部内閣、自民党は非課税範囲の拡大、福祉目的税構想、税額表示の内税方式への一本化などにしぼって見直し作業を具体化しようとしています。こうした態度は、世論に挑戦してあくまで消費税を存続強化しようとするものです。

今議会に市民から提出された消費税廃止を求める請願は、廃止を求める市民の切実なる声です。消費税は即刻即時廃止です。

よって、消費税廃止を求める意見書不採択に対して反対します。

▽政府は、国民の大多数が反対する大型間接税の導入はしないとの公約に違反し、消費税を押しつけてまいりました。よって、国民は七月の参議院選挙においてリコール審判を行ったのであります。この結果により政府自民党は、当然廃止法案を提出すべきところでありますが、まだ見直しなどと言っております。

もとよりこの消費税は、不公平税制の拡大をはじめ弱い者いじめ

の最たるものであり、天下の大悪法であります。

従って、消費税の廃止を求める請願を不採択とした総務委員会の決定に反対であります。

▽海部首相は、消費税を思いきって見直すとは表明しておりますが、これは部分的な改革でしかなく、今回の税制技術改革の目的が、サラリーマンの重税感解消にあったにもかかわらず、直接税の不公平は正なしに間接税で行おうとしたところに大きな誤ちがあったのであります。

野党は、消費税廃止に伴う二年間の暫定財源について、①不公平税制の是正②法人課税の適正化③物品税の復活④税収の見積りの四本を柱にして主張しております。

消費税をまず廃止し、間接税の在り方を含めた税制改革論を主張いたしましたして、消費税廃止に関する請願不採択に強く反対します。

◆平成元年度甲府市一般会計補正予算中不燃物業務の効率化実施事業費について

昨年この業務の民間委託試行が議会に提案された時、近い将来環境行政業務の全面的な民営につながることを指摘し反対しました。

この委託業務は、増大する不燃ゴミの中から有価物を取り出し資源として再利用をするとともに、

ゴミ処理量の半減をねらう一石二鳥の内容であります。清掃業務は地方自治法で定められているとおり、市長の固有の義務であり行政責任を明確にしております。

従って、この清掃業務に当たってはより合理的に業務の改善を図り、市民サービスの一層の進展につとめるべきであり、全面的な民間委託に道を開くおそれのある今回の補正予算に反対するものであります。

◆消費税の抜本的な見直しを求める意見書提出について

海部首相をはじめ政府自民党は、消費税の大胆な見直しをすろとさかんに言っており、特に納税者の意見を聞いて国民の納得の得られる思い切った見直しを行うと言って経済企画庁長官が消費者団体代表と懇談するなど国民の声に耳をかたむけるポーズをとっています。

しかし、政府自民党の見直し論は、廃止しかないという審判を下した国民の怒りをそらし、あくまで消費税を生き延びさせるのがねらいです。

今議会に提案された意見書の内容は、抜本的な見直しとなっておりますが、全く不明確であり、これでは市民から負託された議会の任務をはたした事にはなりません。よって、この提案には反対します。

常任委員会

審査の

主な内容

総務委員会

◇監査委員等の選任を同意

議案第一〇四〜一〇七号監査委員の選任、公平委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任についての四案は、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

◇消費税廃止を求める請願等は不採択

消費税をただちに廃止するため意見書提出を求める請願等五件については、先の参議院選挙で大多数の市民が消費税廃止を求める意志を表明しているため採択すべきであるとの意見が出されましたが、採択の結果多数をもって不採択とするものと決しました。

◇市政功勞表彰者の選考基準について

議案第九一号市政功勞表彰者の選考にあたっては、委員から表彰者の選考にあたっては、年齢及び役職在任年数だけでなく、市有功表彰

基準や市勢功勞等をも考慮するよう要望する意見が出され、全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

民生委員会

◇甲府市教育職員退職年金・退職一時金を改定

議案第八八号甲府市教育職員の退職年金及び退職一時金に関する条例等の一部を改正する条例等の一部を改正する条例制定について及び議案第八四号平成元年度甲府市一般会計補正予算(第三号)中当委員会所管分の二案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

経済委員会

◇帯那山高原牧場整備事業完成後の管理運営は

議案第八四号平成元年度甲府市一般会計予算(第三号)中当委員会所管分については、全員異議なく可決するものと決しましたが、帯那山高原牧場整備事業関係予算に関連して委員から、この事業の推進にあたっては、将来の管理運営について十分慎重な検討の中でプランニング作りを考えるべき

建設委員会

だと思うがどうかとただしたのに對し、当局からこの事業完成後の管理運営については、第三セクター方式が望ましいと判断し、現在県と協議中であり、採算性を十分考慮し長期的な計画の中で検討していきたいとの答弁がありました。

そのほか、街路事業費関係予算に関連して、県施行の古府中環状浅原橋線と高畑町昇仙峡線の計画推進の整合性を図り、地元住民の十分な理解を得る中で今後県との協議を進めるよう要望する意見がありました。

◇ゴミ処理の民間委託及びゴミ減量化対策について審査

議案第一〇一号平成元年度甲府市一般会計補正予算(第四号)については、まず当局から年々増加するごみ量及びごみ質の多様化により、最終処分場の確保が本市においても非常に厳しい状況下にある。この状況から民間委託の試行調査を踏まえ、ごみ減量化、資源化のリサイクル型の強化策として、再資源として利用できるごみの排出を新たに月一回設定し、これを収集、選別する業務を効率的に処理できる方法として、今回新たに民間活力の導入を図ることとし、

それに必要な予算を計上したとの説明がありました。これに対し委員から、有価物については自治会の協力によりその回収を行ってきしたが、これらの事業が民間へ業務委託されることに伴い、今後有価物の回収にあたって自治会とのあつれきが予想される。さらに資源ごみ以外の生ごみ等が混入された場合の対応策等はどうかとただしたのに対し、当局からこの事業については各自治会および報道機関等に十分その趣旨をPRするとともに、平成元年度は有価物回収未実施自治会等を対象に民間委託を進めていく。平成二年度において各単自治会に職員が出向きこの事業の説明を行うなど、資源ごみの排出の徹底を図っていききたい。また生ごみが混入されないよう職員によるパトロール体制の強化を図るとともに、市民への理解が得られるよう努力していきたいとの答弁がありました。

続いて他の委員から、今回の民間委託は先の試行計画より後退した委託計画であるが、その原因は何かとただしたのに対し、当局からは六月議会に提出した基本計画とは若干後退した計画内容ではあるが、ごみ処理については中間処理も重要であるが、現在最終処分場が平成四年の前半には埋立完了になる状況にあり、この新しい事業を導入する中で、最終処分場の延

命化を図ることを主眼としたため、試行計画より若干の後退があったとの答弁がありました。これに対し委員から、ごみ処理場も耐用年数が過ぎ、また最終処分場も四年くらいで埋立が完了する状況の中で、ごみ減量化の対策として、

- 一 各家庭に徹底したごみ減量化の指導を行うこと。
- 一 自治会に対し、ごみの分別のための袋、容器等を無料で配布すること。
- 一 ごみ減量化のための市民シンポジウムを開催し、市民全員に減量化の意識の高揚を図ること。

このほか他の委員から、最終処分場の取得及び新ごみ処理場建設に伴う進行管理計画を、十二月議会までに示してほしいとの要望意見がありました。本議案については全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◇塵芥処理工場改築の請願を採択

塵芥処理工場の改築については、地元三町のうち二町は石和町との共同処理について反対をしているので、三町合意の請願内容でないもので、継続審査とすべきであるとの意見が出され採決の結果、多数をもって採決するものと決しました。

なお、本請願については、三月定例会でその処理の経過と結果について報告をするよう求めました。

請願の審査結果

採択されたもの

〔建設水道委員会〕

▽塵芥処理工場の改築について

(増坪町自治会会長・深沢勇ほか)

不採択になったもの

〔総務委員会〕

▽消費税をただちに廃止するための意見書提出を求める請願(消費税反対甲府各界連絡会代表・相沢平次郎ほか)

▽消費税の廃止を求める意見書提出に関する請願(山梨中央市民生活協同組合理事長・小林豊子ほか)

▽消費税の廃止を求める意見書提出に関する請願(山梨中央市民生活協同組合理事長・小林豊子ほか)

▽消費税の廃止を求める意見書提出に関する請願(山梨中央市民生活協同組合理事長・小林豊子ほか)

継続審査するもの

〔総務委員会〕

▽医療制度の改善を求める請願(いのちと健康を守る山梨県民連絡会代表・山内正海)

▽医療制度の改善を求める請願(いのちと健康を守る山梨県民連絡会代表・山内正海)

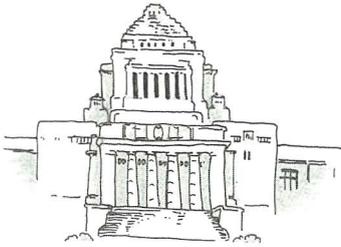
消費税の抜本的な見直しを求める意見書

見直しを求める意見書

現行の消費税に対する国民の批判はきわめて厳しいものがある。

このさい政府は、将来の国家財政の堅実な運営を考慮しつつ謙虚に国民の声に耳を傾け、国民の納得がえられるよう消費税の思い切った抜本的な見直しをはかるよう強く要望する。

政府関係機関へ提出



〔民生文教委員会〕

▽中学校給食の実施を求める請願(中学校給食を実現する連絡会代表・中村綾子ほか)

▽中学校給食の実施を求める請願(中学校給食を実現する連絡会代表・中村綾子ほか)

▽寝たきり老人等の介護に対する介護手当制度創設について(甲府市城東四丁目一六一・一八・坂本繁造)

▽青葉スポーツ広場の改修整備について(甲府市青葉町自治会会長・古屋照男ほか)

▽青葉スポーツ広場の改修整備について(甲府市青葉町自治会会長・古屋照男ほか)

古屋照男ほか)

平成元年度

甲府市表彰式で議員表彰

市政功勞表彰	小澤 綱雄
優遇表彰	鈴木 豊後
"	堀口 菊雄
"	千野 哮
"	岡 伸
"	宮島 雅展

平成元年三月及び六月定例会採択の

請願・陳情はどう処理されたか

市長結果報告

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 東側道路の拡幅につきましては、教育委員会と計画平面図(幅員六・〇メートル)により協議いたしました。学校構造物等に及ぼす影響を考慮する中で、種々検討した結果、道路幅員五・〇メートルとして、道路改良工事を本年度事業として実施する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

陳情

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

〔甲府市小瀬町五八八・松本寿夫ほか〕 学校のし尿処理施設につきましては、下水道本管に直結させる工事を本年九月中旬に完了する予定であります。

◇甲府商業高校周辺道路改良等

百周年を機に リニア建設で 更に市政飛躍を

市政クラブ

- 早川 武男 小澤 綱雄
- 三井 五郎 中西 久
- 原田正八郎 堀口 菊雄
- 千野 哮 清水 節子
- 牛奥 公貴 川名 正剛
- 宮川 章司 皆川 巖

議会最大の責任与党として、明日をひらく健康都市甲府の実現のため構成員一同研鑽を積んでおります。先般リニア実験線が本県に決まり、本市を中心として焦点となっております。東京―大阪間を一時間で結ぶ夢の超特急です。

これによる期待と不安解消に真剣に取組まなくてはなりません。

新しい交通体系と既存商工業の活性化と、よりよい住環境の向上につながるなくてはなりません。市政の五大プロジェクトであります市制百周年記念事業も、緑が丘の記

意見

念モニュメントの完成、明年九月完成予定の総合市民会館は文化を始め市民交流の場としてシンボリックなものになると思います。目下博覧会、パンダ展も市民の手づく

り博として歴史の頁を築いております。更に自然を生かしての北部山岳一帯の市民の新しいリゾートの建設、甲府駅を中心とした南北の新都市拠点整備事業は、情報化頭脳集積の中核として位置づけていますが、リニアとの関連も充分考える必要を感じています。

又既に半分は工場立地がなされている南部工業団地の建設は、本市活性化のために是非とも推し進めていかなければならないと思います。更に静岡と新潟を四時間で結ぶ中部横断自動車道の建設も、リニア時代と充分連携を考えなくてはなりません。これら大事業を強力に進め一層の飛躍を期して努力してまいります。

すべての市民の

幸福を願って

社会党・市民連合

- 飯島 勇 鈴木 豊後
- 中込 孝文 岡 伸
- 斉藤 憲二 石原 貞夫
- 細田 清

市民の皆様には平素からご支援

ご協力をいただいておりますことを感謝申し上げます。

私達は、原市政与党の立場で、すべての市民の幸せと生活の向上を図るため、また広く市民とともに歩む議会運営を行っていくために一杯の努力を続けて参ります。

市制百周年の年にあたり、原市政が推進しております「第三次総合計画」(即ち百周年記念事業の成功と北部山岳地域振興事業、新都市拠点整備事業、南部工業団地建設事業、総合福祉施策推進事業等々に積極的に取り組んで参ります。

私達は、甲府市を「活力ある平和な誰しもが住み良い街とするため商業の活性化に努め、平和憲法のもと豊かな人間社会を形成していくため、互いが思いやり助け合う福祉の充実と、次代を担う子供たちの教育の充実」に力を入れるなど、二十一世紀への展望を切り拓く政策の実現に向けて頑張っており参ります。

今、国会で論議されている消費税廃止問題については、不公平税制の是正を抜きにして、市民の生活すべてを課税対象としている悪法ととらえ、廃止に迫り込む覚悟で取り組んでいきます。また政治改革の基本である清潔な政治、誠実な政治を行っていくためにも清潔な選挙を行うことが第一と考え、今後この点を訴えて参りたいと考えております。

私達は市民の皆様様の身近な議員としてその負託にこたえるべく努力して参りますので、今後とも一層のご指導をお願い申し上げます。

政策集団

としての会派

市民クラブ

- 内藤 秀治 上田 英文
- 福島 勇 宮島 雅展
- 依田 敏夫 小野 雄造

私どもの会派は一期一、二期一、三期二、六期一、八期一の計六人で、新進気鋭の若手から中堅、そして最古参までバラエティに富んだ構成であります。

岩をも突き破ろうとする若手中堅の意見に、大所高所から冷静なアドバイスをする古参の意見が組み合って躍動する。これが我党派の特徴であります。議論に議論を重ねながら止揚された意見こそが市民の批判に耐えうる正統性をもつと考えているのです。

ところで今市政は二十一世紀にむけて、新たなる甲府市像の基礎固めにすべてをかけて取り組まねばならない正念場の時であります。次代にスムーズにバトンを渡すためには新ゴミ焼却場、新市庁舎、新市立病院等の建設をはじめ市民

福祉の根幹にかかわる諸問題に対し「今この時こそ」の気がいを持って立ちむかわねばなりません。もとより議会や議員の機能は市長の提案権に対する審議権の十全な行使にあるのですが、我党派の構成員はそれだけではなく、時には行政へのサジェスションも大切な議員の役割と考えています。

リニア新時代」といわれています。次代に「夢のある未来」を約束するためには市議会が議論の府の権威を確立し、様々な異見を論議することの中にこそ、その鍵はある」と信じます。すべてにきちんとした理論の裏打ちを求めるとして、市民本意の市制推進のため、大いなる努力を続ける所存であります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

消費税の撤廃を

めざします

公明党

- 堀内 光雄 小林 康作
- 堀内 征治 秋山 雅司
- 大村 幾久夫

甲府市制施行百周年の記念行事こうふ博覧会の大成功と関係役員諸団体の方々の御努力に対し深く敬意を表するものであります。

公明党は清潔・公平・自由・平

各 派 会

和・福祉の政治実現を掲げ、日夜甲府市民と共に歩んでまいりました。人間性を尊重し、議会制民主主義を守り育てていく公明党こそ現在の甲府市の政治状況のなかでなくてはならない存在であると確信します。

消費税が強行

されたことにより流通業界は大きく混乱し、国民生活の諸面に重大な影響が及びつつあります。公明党甲府市議団は、こうした消費税の廃止を求める意見書を国会に提出するよう請願に協力いたしました。反対多数で否決されてしまいました。今後もお市民と共に消費税撤廃運動を展開してまいります。

さて、公明党は「二十一世紀トータルプラン」を発表しました。このプランは、高齢化など現在進行中の社会変動を先取りし、市民の求めている真に豊かな社会を実現するための処方箋です。

公明党市議団は、すべての市民が、それぞれ個性や、生き方、価値観、人生観が尊重され、快適な人生・生活を創り出せる人間的福

祉社会の実現と、甲府市民の「幸福・繁栄」という本来の意味の「福祉」の実現のために、全力で取り組んでまいります。

行政は市民の

為に在る

政 新 会

内藤 幸男 剣持 庸雄
森沢 幸夫

市制百周年を迎えた甲府市は、民生安定と、近代都市へ向けて、第三次総合計画を柱に、文化・産業・経済の発展の為の開発事業や都市基盤整備に取り組んでいます。私達は、これ等の諸事業が、常に市民の生活・文化の向上に役立つ軌道で進められるよう心を配っております。その為に次の三点に留意しております。

一、行政は市民にとってのものであることの確認

市民が個々で道路整備をしたり、水路の改修をしたのでは、大変無駄がある。そこで、お金（税金）を出し合って、専門家に依頼しているという政治の原点を見きわめ、常に住民の求めている行政であるよう見つけて行く。

二、行政改革は日進であるべき
市民生活の変遷と共に、流動し

て行くのが行政であり、手段方法は、その時代に合ったものでなければならぬので、そんな点を注意しています。

三、市費は効果的に使われているか
市民の財産が一方的に使われたのでは、多くの市民が迷惑することを考え、平等で、適正に使用されるよう見守って行きます。

以上、行政の原点をわきまえ、議会人としての責任を果たして行きます。

住民本位の

市政実現のために

日本共産党

加藤 裕

日本共産党は、「住民こそが主人公」の地方自治の確立と行政が住民の利益の守り手となるように多くの市民と手をつなぎ、切実な要求実現のために頑張ります。甲府市制百周年にあたって、「地方自治は民主主義の小学校」といわれます。あらためて、くらしの中の、民主主義の真の守り手となるように、わが党は努力していきます。

一、消費税を廃止するために
議会の内外で一貫して消費税廃止の運動を展開してきました。本

年四月に強行実施されてから半年余り。子供からお年寄まで、生活のすべてから税金をとられ、廃止してほしいとの市民の声は圧倒的に多くなっています。地方自治体への影響も大変なものがあり、自治体も納税者にされています。これが続くなら市財政を圧迫し市民サービスの増々の低下を招きます。消費税は「見直し」ではなく廃止です。自民党は世論に抵抗し定着を計ろうとしています。だからこそ、消費税の廃止を主張する全勢力が、その他の問題での意見の相違をわきにおいて、大同団結し、自民党を追いつめることが必要です。日本共産党はひきつづきみなさんと力を合わせて奮闘します。

二、自校方式の中学校給食の実現
教育の一貫としての学校給食の実施は学校設置者の義務であり、実現まで全力で頑張ります。

是々非々を

貫ぬく

無 所 属

村山 二永

本来、地方自治にあつては、国会とちがって議員内閣制ではありませんから、正しい意味の与党・野党は政治学的には存在しないのです。市民が直接選挙で選んだ市長の行政執行を、市民代表として選挙で選ばれた市議会議員が、市民にかわつて、行政をチェックするのですから、市議会議員が是非々主義の考え方を失なつたら、民主的の地方自治は無くなるのです。

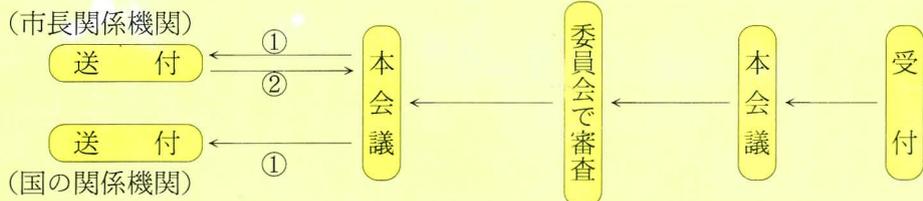
私は、そうした政治信条を持つて議員に当選させてもらったのですから、権力に迎合することなく、利権に癒着することなく、常に自己のもつ意志を言葉として発言し積極的に行動をしてきたつもりです。

特に教育の問題、福祉の問題を中心にして、新しい制度の導入、新しい発想による行政の転換など二十一世紀に向つての行政のあり方を機会がある毎に当局に問いかけていきます。幸い私は三十年近い市役所勤務のうち二十年は部・課長の経験がありますので、この経験を市民サイドに立って活用し、市民の声を市政に現実化してまいります。私は議員になってから四百人近い市民の方から投書を書き、実名のものについては、取り上げました。意見をお寄せ下さい。

甲府市古上条町三九八一

私は、議員に当選させて頂いてから約六ヶ年経ちますが、市当局に対しては、常に是非々々主義を一貫して貫いて参りました。

請願・陳情のしかた



市政等について要望があるときは、議会に請願や陳情を提出することができます。この請願・陳情書は、所管の委員会で審査され、本会議で採択または不採択の議決がなされ、議会の意思が決定されます。

議会事務局（市役所本庁舎二階）で受け付けます。

議長が定例会本会議で報告し、所管の常任委員会に付託します。

付託された請願・陳情は、所管の常任委員会で慎重に審査され、討論、採決を行い、委員長は、審査結果を議長に報告します。

① 審査結果をもとに、本会議で質疑、討論、採決を行います。採択か不採択かを決定します。その結果を市長等関係機関に送付します。
② 請願・陳情の処理経過及び結果を報告します。



請願される場合は、文書で請願の趣旨、理由、提出年月日、請願者の住所氏名（法人の場合はその名称と代表者の氏名）を記載して押印し、表紙には紹介議員の氏名を記載し押印したものを議長あてに提出してください。
記入の様式は左記にならってください。
◆① 請願の紹介議員は一人以上必要です。
◆② 請願者が多数の場合は別紙に連記してください。
◆ 陳情の方法は請願と同じですが議員の紹介は要りません。

紙 表

（様式例）

〇〇について
請願（陳情）書
紹介議員 氏名 ㊤
（陳情書の場合は
紹介議員は必
要ありません）

内 容

（件名）〇〇について
請願（陳情）
（要旨）
（理由）
平成 年 月 日
住所
氏名
甲府市議会議員 殿
㊤



- 4月
 - 7日 各会派代表者会議
 - 5月
 - 2日 議会運営委員会
 - 8日 五月臨時会・各会派代表者会議
 - 10日 建設水道委員会（現地視察）
 - 17日 経済都市開発委員会（現地視察）
 - 6月
 - 14日 経済都市開発委員会（懇談会）
 - 21日 議会運営委員会
- 7月
 - 23日 各会派代表者会議
 - 27日 各会派代表者会議
 - 29日 各会派代表者会議
 - 7月
 - 3日 各会派代表者会議
 - 7日 総務委員会（懇談会）
 - 14日 総務委員会（懇談会）
 - 8月
 - 11日 各会派代表者会議
 - 12日 議会運営委員会
 - 20日 各会派代表者会議
 - 22日 決算審査特別委員会
- 9月
 - 31日 総務委員会（懇談会）
- 10月
 - 23日 各会派代表者会議
 - 27日 各会派代表者会議
 - 29日 各会派代表者会議
- 11月
 - 23日 各会派代表者会議
 - 27日 各会派代表者会議
 - 29日 各会派代表者会議

あなたも本会議を傍聴してみませんか

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や、市政の方針審議状況を直接傍聴することができます。

傍聴手続きは、直接議場（市役所本庁舎二階）に来ていただき、傍聴人受付簿に自己の住所氏名及び年齢等を記入するだけでどなたでも傍聴できます。

次の定例会は、十二月の予定です。

お問い合わせの上お越しください。